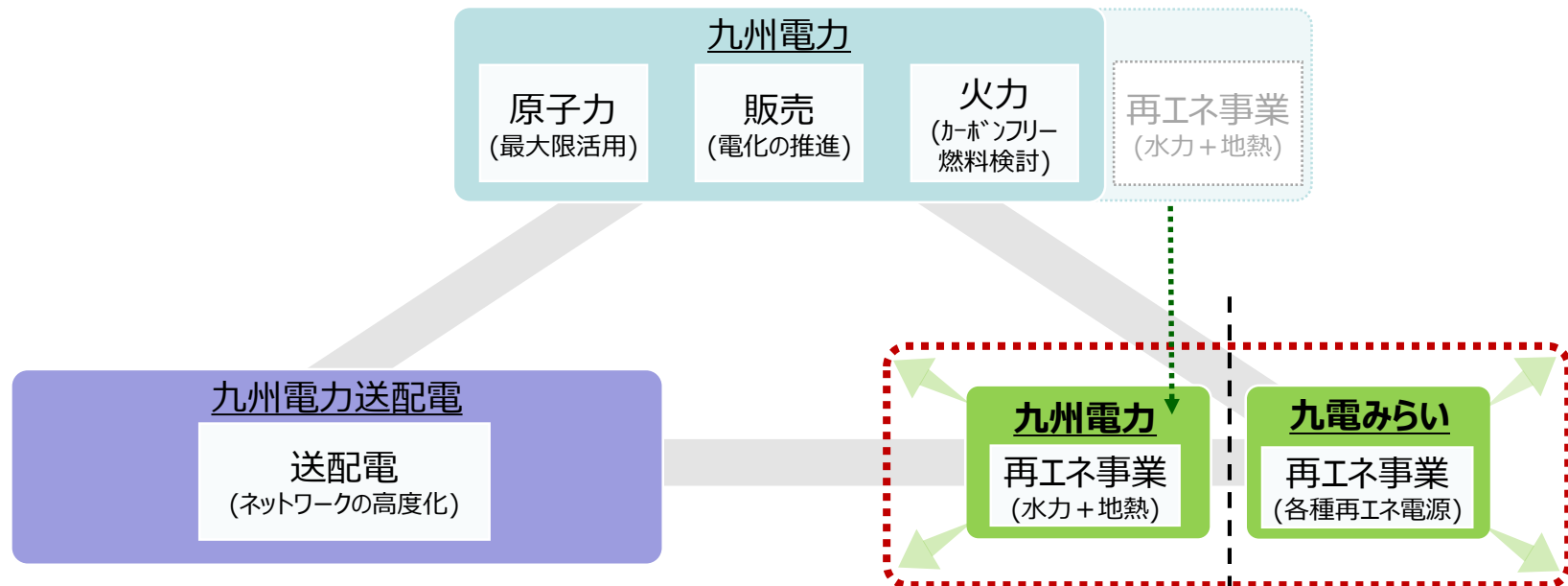


- 九州電力(株)と九電みらいエナジー(株)の再エネ事業を統合し、**事業運営体制を強化**することで、
 - カーボンニュートラル実現に向けて、**再エネ主力電源化の取組みを加速**し、
 - お客さまや社会の**再エネに対する幅広いニーズにお応え**し、
 - 再エネ事業における**新たな価値創造に挑戦**し、

再エネ事業を九電グループのコア事業とします

九電グループにおけるカーボンニュートラルへの取り組み状況



統合により更に強化・拡大 → コア事業化

意思決定の迅速化

- 責任・権限を1つの会社を集約し、意思決定を迅速化

経営資源の獲得

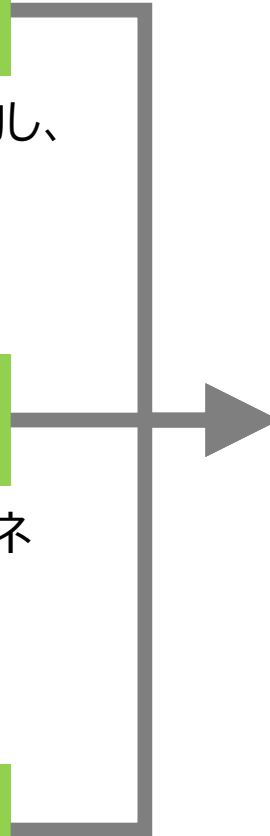
- 再エネ事業に必要な人・モノ・カネ・情報を効果的に獲得

経営基盤の強化

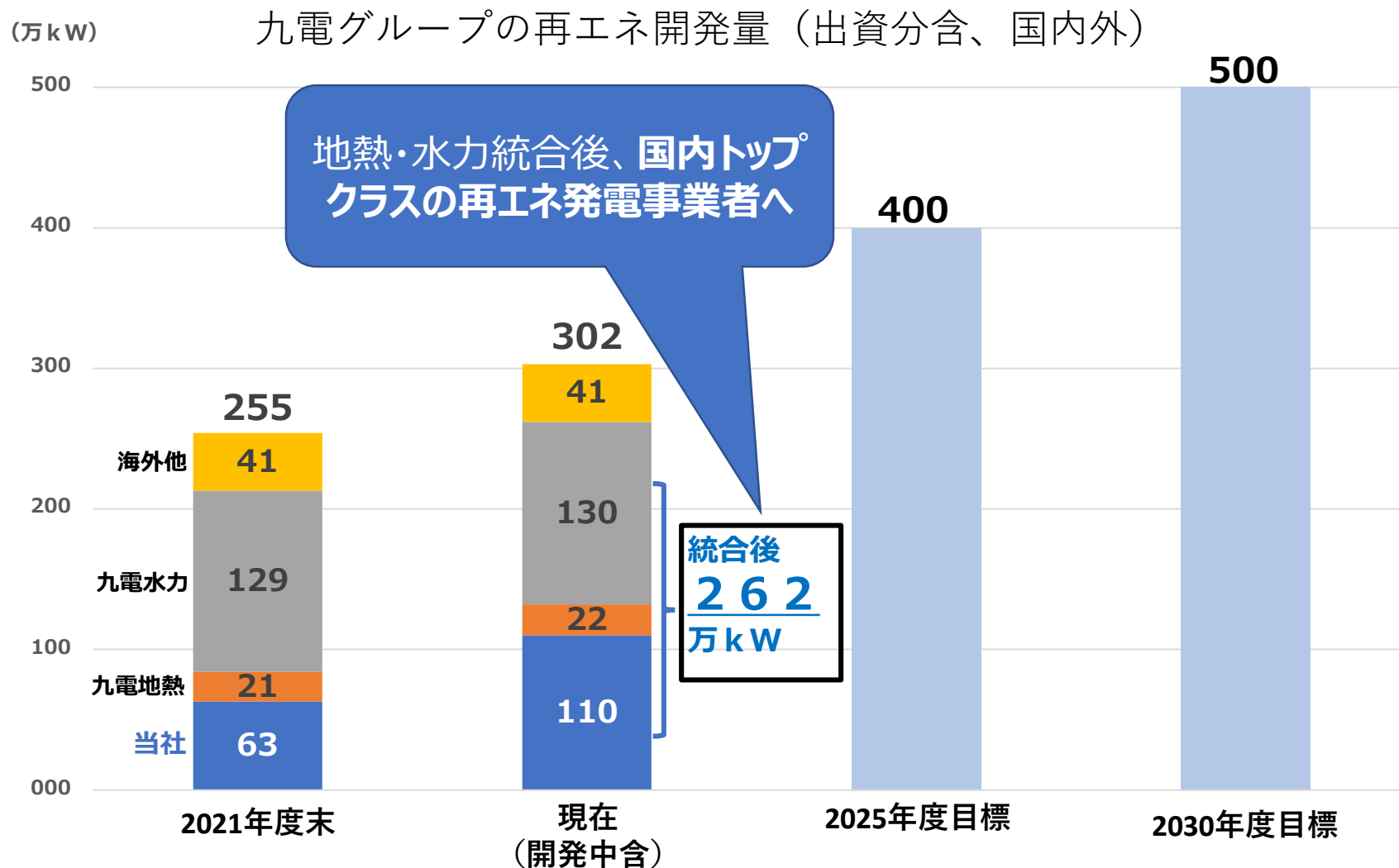
- 地熱・水力の安定した収益
- 再エネ新規開発・更新工事へ投資し、サステナブルに成長

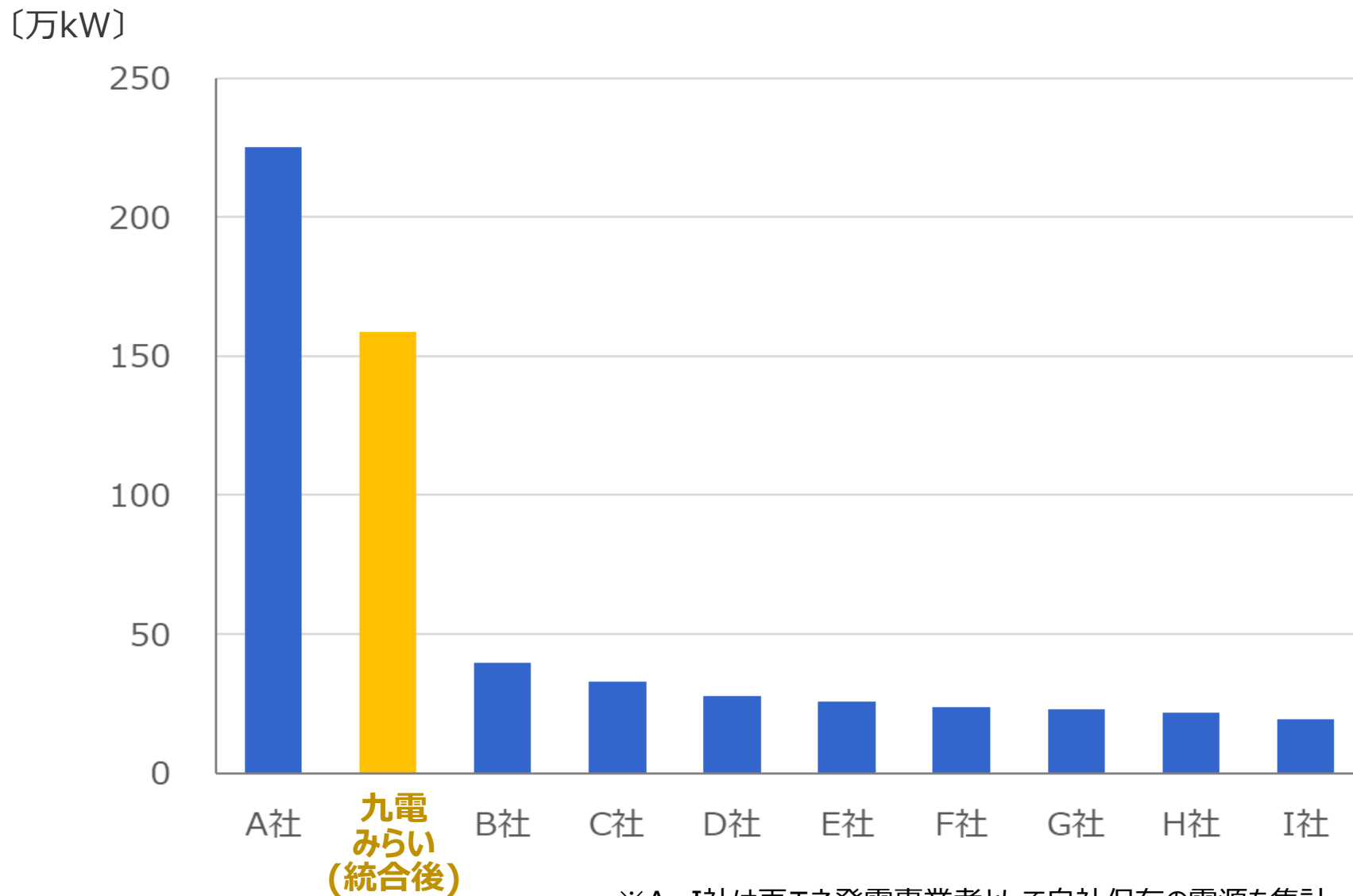
企業価値の向上

- 再エネ事業を着実に拡大
- 競争力・収益力の更なる向上



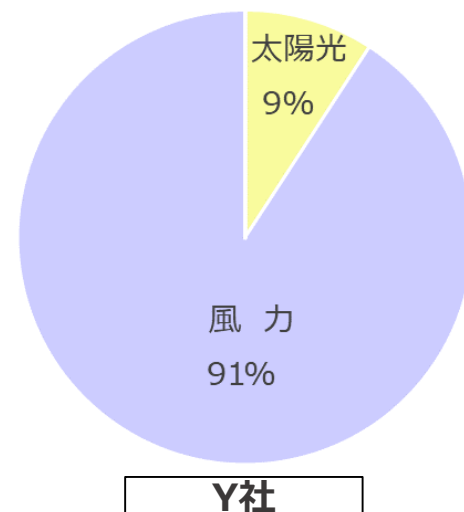
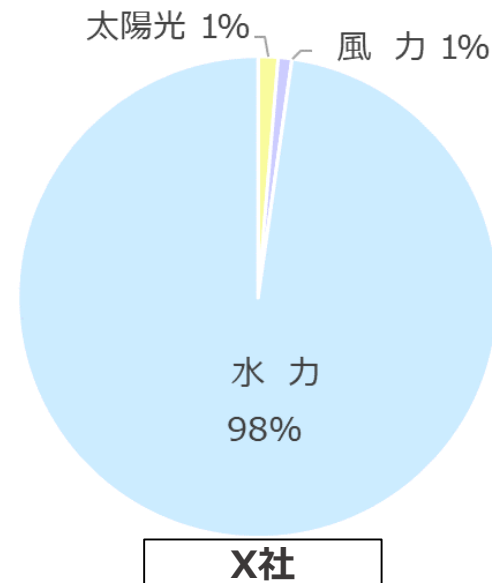
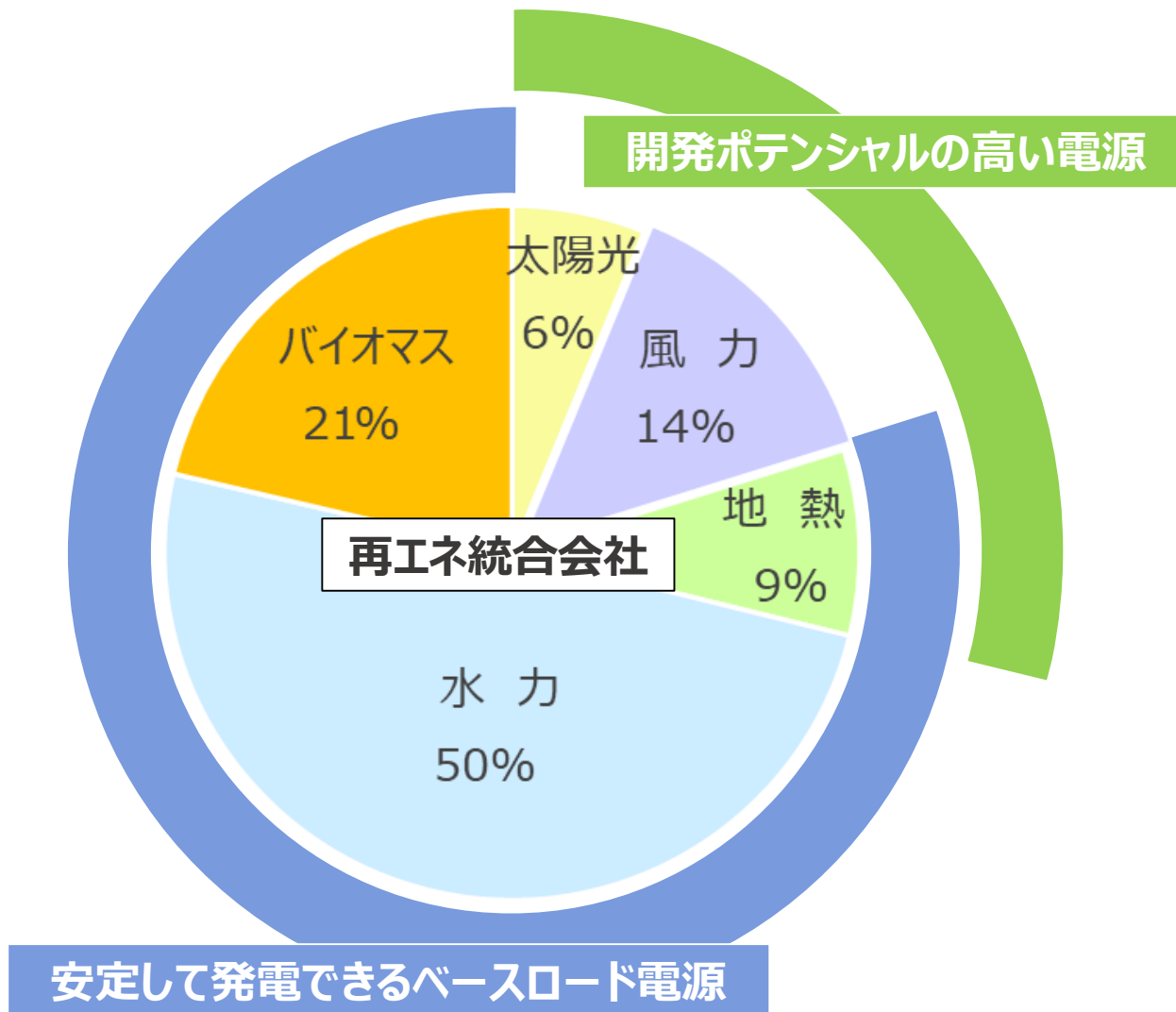
- グループ全体の再エネ開発量は302万kW。このうち統合後の当社分は262万kWとなり、国内の再エネ発電事業者でトップクラスの規模となる。





※A~I社は再エネ発電事業者として自社保有の電源を集計
(電力調査統計[2022年10月]調べ)

- **主要再エネ 5 電源をバランスよく開発**することで、環境変化等に**柔軟に対応できる電源ポートフォリオ**を構築します。



統合の効果

意思決定の迅速化

経営資源の獲得

経営基盤の強化

主な事業展開の方向性

【Ⅰ 再エネ発電事業の拡大】

- ・ 太陽光PPA・地熱発電、市場ポテンシャルの高い陸上・洋上風力の開発拡大
- ・ O&Mのノウハウ進化による既存発電所の高稼働維持 など

【Ⅱ 再エネ関連事業の進化】

- ・ 蓄電池、需給運用事業により再エネ価値を最大化した積極的な再エネ営業活動
- ・ 当社の強みである豊富な運転実績に基づく、発電所O&Mコンサル事業 など

【Ⅲ 新事業領域への進出・拡大】

- ・ モビリティや鉄鋼などあらゆる分野にグリーン水素等の次世代エネルギーを展開 など

これらを支える「人財育成や教育」「組織風土改革」にも注力